福岡県の商工業

福岡県の中小企業は県内企業数の 99.8%を占め、そのうち小規模企業数が 83.2%を占めています。また、従業員数は県内の77.3%を占めています。

福岡県の工業は、鉄鋼、石炭・化学等の基礎素材型産業や食料品等の生活関連型産業を中心に発展してきましたが、近年では、自動車関連産業等の加工組立型産業のウェイトが高まっています。また、食料品製造業は、豊富で良質な農林水産物が調達できることや、大消費地に近く物流環境に恵まれていることなどから集積が進んでいます。

自動車産業

福岡県には、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、日産車体九州の3つの自動車工場があり、隣の大分県にもダイハツ九州の自動車工場があります。北部九州にある4つの自動車工場の生産能力は年間 150 万台以上です。世界において、150 万台以上乗用車を作っている国は 7 か国しかありません。福岡県内には、約 600 社の関連企業があり、北部九州の自動車産業を支えています。

水素エネルギー産業

大型FCトラック

福岡県では、環境にやさしい水素の産業振興に取り組んでいます。九州大学では、水素・燃料電池に関する世界最先端の研究開発が行われ、この分野で、福岡県は世界から注目されています。県では、水素の消費量が多いトラックやバスなどの商用 FCV の普及に向けて、燃料電池トラックの導入や水素ステーションの整備・運営に対する支援を行っています。県庁敷地内に設置しているものを含めて、現在、県内 9 か所に水素ステーションが設置されています。

バイオ産業

福岡オリジナル吟醸酒

福岡県では、生物の持つ能力や性質を活かす「バイオ技術」を活用して、産業を振興しています。久留米市など筑後地域は、昔から醤油や味噌など発酵食品の製造が盛んであり、また日本酒を造る酒蔵も多くあります。この地域を中心に新しい薬や健康食品、福岡県独自のお酒などの製品が開発されたり、バイオに関係する企業が新設されたりするよう、研究開発の支援などを行っています。

半導体産業

近年注目が集まっている環境にやさしい省エネルギーな半導体「グリーンデバイス」

半導体は、様々な電子機械を動かすための大切な部品として私たちの暮らしを支えています。県内には、半導体の製造に関わっている企業や半導体に関する研究を行っている大学、支援機関がたくさんあり、福岡県は、このような企業、大学などといっしょに、環境にやさしい省エネルギーな半導体「グリーンデバイス」の開発・生産拠点の形成を目指しています。

宇宙ビジネス

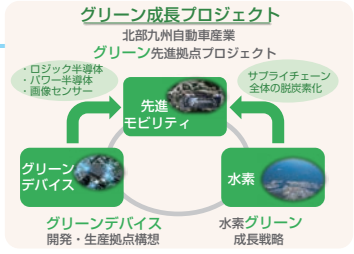
県内宇宙スタートアップ㈱QPS研究所が開発した小型レーダー衛星
（提供：㈱QPS研究所）

福岡県には、宇宙に挑戦する企業や、宇宙に関する研究を行っている九州大学、九州工業大学などがあります。福岡県では、これらの企業、大学が行う人工衛星やロケット、人工衛星からのデータを活用した新サービス、宇宙食の開発の支援を行っています。

スタートアップ支援

令和 7 年春に、世界的なスタートアップ支援機関である CIC(ケンブリッジイノベーションセンター) がアジアで 2 か所目の拠点「CIC Fukuoka」を開設しました。福岡県では、「CIC Fukuoka」内に、県として初めてのスタートアップ支援拠点「グローバルコネクト福岡」を設置し、「資金調達」「ビジネスマッチング」「海外展開」「先端技術」「専門人材マッチング」などを支援する職員を配置します。スタートアップの成長を総合的に支援し、更なるスタートアップの創出や成長に繋がるグローバルなエコシステムの形成を目指しています。

グリーン成長プロジェクト



福岡県では、国が掲げる2050年のカーボンニュートラルを見据え、自動車、半導体、水素の分野において、「グリーン」をキーワードとした「グリーン成長プロジェクト」を推進しています。EVや自動運転などの「先進モビリティ」、省エネで高性能な「グリーンデバイス」、再生可能エネルギー等でつくる「グリーン水素」の先進拠点の構築に取り組み、経済と環境の好循環の実現を目指します。